

■東京支部活動の報告

① 東京支部 オンライン人生塾のご案内

教育 30 期でクロスオーバーホルン奏者の東谷慶太さんがお届けする YouTube 無料配信音楽番組 KEITA MUSIC ROOM を開設と同時に、クラウドファンディングを立ち上げました。

東京支部といたしましても、支援活動の一環として、東京支部初のオンライン人生塾を開催いたします。詳細は、今号の最後のページをご覧ください。

② 東京支部オンライン代議員会を開催しました。

2020 年 7 月 18 日 (土) 10 時から東京支部オンライン代議員会を開催しました。参加者は 16 名です。東京支部会員のみなさまには、8 月下旬に郵送される代議員会報告書等にて詳細をご覧ください。

◆和歌山大学 ニュース

① 令和2年度「第10回ホームカミングデー」の中止

新型コロナウイルス感染症拡大により参加者、関係者の健康・安全面を第一に考慮し、感染リスクを回避するため誠に残念ながら、例年のように栄谷キャンパスに一堂に会しての実施は断念することとなりました。楽しみにしていただいていた皆様には、ご迷惑をおかけし誠に申し訳ございません。

※詳しくはこちら <http://www.wakayama-u.ac.jp/homecoming/>

② バーチャルオープンキャンパス公開！

和歌山大学を紹介する多彩なコンテンツを映像を中心に集めました。

お手持ちのスマートフォンやご自宅のパソコンから、和歌山大学の雰囲気に触れてください！

※詳しくはこちら <http://www.wakayama-u.ac.jp/voc/>

③「最優秀ドキュメンタリー脚本賞」受賞@第2回ヴェスヴィオ国際映画祭(木川剛志教員)

イタリアで開催された第2回ヴェスヴィオ国際映画祭にて、本学部の木川剛志教授監督作品「Yokosuka1953」が「最優秀ドキュメンタリー脚本賞」を受賞しました。今回受賞をしたのは 54 分の中編バージョン。コロナ禍でナレーションなどが困難であり、長編部門の製作が終了しない中で生まれたバージョンでの受賞です。現在も世界の映像祭に応募中であり、今後、長編の製作、一般劇場での公開を目指しています。

※詳しくはこちら <http://www.wakayama-u.ac.jp/tourism/news/2020080400017/>

④ 第10回香村賞ビジネスプランの募集

和歌山大学では、本学学生の勉学意識と社会的貢献意識の向上、及び、就職支援・創業支援を目的に全学生(院生を含む)を対象として、柑芦会(和歌山大学経済学部同窓会)の「香村常雄基金」の果実を利用した「香村賞ビジネスプラン」コンテストを開催します。応募者には、このコンテストが自らの考えるビジネスプランやアイデアを「試す機会」となり、将来、起業を志す学生にとっては「登竜門」となることを望みます。

※詳しくはこちら <https://www.wakayama-u.ac.jp/cijr/news/2019080900047/>

⑤ 事業連携から生まれたツアープラン販売中！【第3弾:和歌山県北山村】

観光学部プロジェクト自主演習の1つである「和生大×中紀バス」旅行商品企画からツーリズム・サプライチェーン・マネジメントを体験的に学ぶ」では、実際に、参加メンバーと中紀バス・中西氏が旅行商品の原価計算書を使って旅行商品を作っています。

和歌山県民リフレッシュプランを使った商品ということで企画した「【じゃばらの里・筏下りの北山村】日本唯一の飛び地の村「北山村」で大迫力の筏下りで大自然を満喫・癒し旅」の催行が無事に決定しました。中紀バス様の感染予防対策 (<http://www.chukibus-group.co.jp/index.html>) を知り、当たり前と思われている安全・安心への日頃の取り組みの重要性を改めて実感する良い機会にもなっています。

引き続き、安全・安心に配慮した旅行商品を、学生の感覚を取り入れて、企画しています。

※詳しくはこちら <https://www.wakayama-u.ac.jp/tourism/news/2020072800023/>

⑥ オンラインセミナー「Recovering sustainably, global lessons for Japan's tourism industry」

CTR では今年度、世界の著名な観光研究者によるオンラインセミナーを毎月お届けするウェビナーシリーズを開催しています。第2回目は、サステナブルツーリズム研究の権威である英サリー大学グレアム・ミラー教授(本学特別主幹教授)らが新型コロナウイルス「COVID-19」の影響からどのように観光業界は好転していけるか議論し、600以上の日本各地の自治体を実施したアンケート結果から見える日本の現状について考えます。

参加には事前の参加申し込みが必要です(参加費は不要)。

※セミナーは英語にて行われます。 / ※Zoomを使用したオンラインセミナーです。

詳しくはこちら <https://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/news/2020080400079/>

⑦ 「インターカレッジ・コンペティション 2019」最優秀賞 観光学部伊藤ゼミ竹本チームがスポーツ庁 鈴木長官を表敬

伊藤ゼミでスポーツ庁を訪問し、2019年12月にワールドマスターズゲームズ 2021 関西 インターカレッジ・コンペティション 2019 にて受賞した最優秀賞・スポーツ庁長官賞を鈴木大地長官から改めて授与していただきました。本来ならば、竹本朱理亜、寺尾佳苗、深津那菜(学部4年生)の3名も参加するはずでしたがコロナ禍のため、東京で就職活動中の荒木拓海、藪谷諒真(学部4年生)が代表しての表敬訪問となりました。

授与後には、受賞した「WMG ベジタリアンプロジェクト」について学生が説明し、鈴木長官から「観点が素晴らしく、大会だけではなく日本にとって必要な取組であるので是非成功させてほしい。」というエールをいただきました。

※詳しくはこちら <http://www.wakayama-u.ac.jp/tourism/news/2020080300010/>

◆和歌山関連 ニュース

① メイドイン和歌山の公道走れる電動キックボードが Makuake に。

和歌山を拠点とする glafit は5月28日、国内製造の電動キックボード「X-SCOOTER LOM」のクラウドファンディングを Makuake で開始した。X-SCOOTER LOM は、公道での走行を前提として設計・開発された国産の電動キックボード(電動スクーター)。LOM では段差などでの転倒を回避するため両足を横方向に平行にそろえて乗車できるように設計されている。また、前輪12インチ、後輪10インチの大径タイヤを装備することで走行時の安定度も高めている。1回の充電で約40kmの走行が可能。速度は時速25km以上の High、時速25kmの Mid、時速10kmの Eco の3モードから選べる。オプションでは1回の充電で約60kmを走行できる大容量バッテリーもある。

※詳細はこちら <https://jp.techcrunch.com/2020/05/28/x-scooter-lom/>

② 大阪空港と和歌山駅結ぶ 直行バス運行開始

大阪空港、JR大阪駅と和歌山駅をつなぐ新たなバス「和歌山特急ニュースター号」の運行が18日から始まった。一日18本を運行する。和歌山から大阪空港を一本でつなぐバスは初めてで、これまで電車とバスを乗り継ぐ必要があった大阪空港までのアクセスが便利になった。

※詳しくはこちら https://www.wakayamashimpo.co.jp/2020/07/20200721_95363.html

③ ヤフー・ショッピング「ふるさと和歌山わいわい市場」でお中元・夏ギフトを特集！！

和歌山県産品のお取り寄せサイトのヤフー・ショッピング「ふるさと和歌山わいわい市場」で、お中元・夏ギフトの特集を行います。今年も送った方に喜ばれる和歌山県産品を取り揃えました。ご自宅用に、お取り寄せもおすすめです。期間中は送料無料サービスに加え、限定品も充実していますので、この機会をぜひお見逃しなく、お早めにお買い求めください。

○特集期間 令和2年7月14日(火)～8月13日(木)

○掲載場所「ふるさと和歌山わいわい市場」「お中元・夏ギフト特集」コーナー内

【URL】<https://store.shopping.yahoo.co.jp/waiwai071700/>

④ オンライン開催—わかやまではじめる 新しい生活様式

新型コロナウイルスの感染拡大により、私たちの生活にはさまざまな変化が起きています。通勤の回数が減り働く場所には縛られなくなった、都会の”密”な環境を避けたい、仕事や生活に対する価値観が変わったなど、これまでの生活を見直し、新しい暮らしや働き方を探している方、和歌山県での『新しい生活』はじめてみませんか？

「仕事が見つかるか」、「知らない土地での生活に馴染めるか」、「移住したいけど、どう進めたらいいか」など、様々な疑問や不安を解消するための、しごと&くらしの相談会ですので、多くの方の参加をお待ちしています。

【日時】令和2年8月30日(日)11:00～

【参加方法】オンライン(zoom ミーティングを使用)

【お問い合わせ先】わかやま定住サポートセンター東京窓口

※詳しくはこちら <https://www.wakayamagurashi.jp/howto/event-info/13380>

⑤ 和歌山 IT企業誘致にかかる人材確保の奨励金を創設

和歌山県ではこれまで、企業に対する誘致のインセンティブとして、雇用奨励金や航空運賃補助金等の奨励金制度を設けていましたが、今般、新たに県内のオフィスで勤務する人材を確保するための経費にかかる奨励金を創設しました。コロナ禍の影響でテレワークが普及し、人が密集した首都圏から地方への移住志向がこれまで以上に高まっています。本奨励金により、地元IT人材の雇用先確保はもちろんのこと、首都圏からのIT人材の移住を後押しします。

【和歌山県の奨励金制度(試験研究施設、オフィス施設)】

※今回創設 : 人材確保補助金(情報関連事業)

・求人広告費×50%(1年間) ・人材紹介手数料等×50%(1年間)

・ネットによる求人情報・求職者情報提供(人材データベース等)サービスの利用料×50%(1年間)

詳細は下記URLをご覧ください <https://ritti.pref.wakayama.jp/ict/support/>

⑥ 「和歌山県ワーケーション」のホームページをリニューアル！

和歌山県では全国に先駆け、ワーケーションを「価値創造ツール」と考え、訪問された方々に対して、非日常での活動を通じたイノベーション創出の機会を提供できるように取組を進めています。この度、「和歌山県ワーケーション」のホームページをリニューアルし、和歌山県内のワーケーションに適したワークプレイスやアクティビティ、宿泊サービス、コーディネート団体などの情報を追加しました。今後もさらにコンテンツを充実させ、和歌山でのワーケーションの魅力を発信していきますので、ぜひご覧ください。

※詳しくはこちら 和歌山県ワーケーションHP『WAKAYAMA WORKATION PROJECT』

<https://wave.pref.wakayama.lg.jp/020400/workation/index.html>

令和二年八月一日発行
八月号
柑 蘆 同 人 誌



第678号
2020.8



今月の表紙

走馬灯

令和2年8月1日 柑芦同人誌 芦 火 第678号

清記を終えて 2

678号

○ 純一さんの散歩道の自然、今月はツメクサ特集。一般にはクローバーと呼ばれることが多い。しかしこんなに種類があると。また踏みつけられると四つ葉になると面白いです。散歩道に可憐で可愛い花をこころで見せていた。嬉しい限りである。

○ コロナが相変わらず落ち着かない。特に大都市東地域での数字に一喜一憂の世界。感染者増加の心配と営業の継続が出来ず、店の主人の失業・自殺問題の綱引きが起きている。完璧な答えはない中で基本方針を決める難しさがある。最終的にはワクチン。治療薬の出現で明かりが見えることになるが、それまでは綱引きが継続するのを覚悟せねばならないだろう。年金生活者は月々の支給も変わらないので一番思われていた。三密を避けて他人に迷惑をかけることが大事。それと草炎さん言葉にある「自分の生活」を守ることに徹したいもの。

○ 集中豪雨というのか、各地の浸水被害、がけ崩れによる被害の報道が連日ある。どこで起きるか分からない。二十一世紀は天災災害が増えるとの学者の言葉を思い出す。地震に遭遇したとき、いかに平穏な日常が幸せかを痛感した。今災害にあった方もその思いを新たにしているだろう。災害に対しては専門家は日ごろ自宅の危険性(地震、がけ崩れ、浸水など)のイメージを膨らませて、その時どうするか、避難場所、住宅への事前対応など家族と話あっておくことが大事という。お国に対応を期待しても間に合わない。自分は自分で守ることが基本。

○ 香港の一國二制度が危うい。共産党の本音を露にしてきた。自由を求める香港の人々の願いも難しい様相となった。本当に自由を享受し、普通の生活を維持するのは簡単ではないことを痛感する世の中になってきた。最後は自分であること、思いを強くすることである。

◎ 本高得点者

- 21点 としを 18点 惠吾 16点 六甲、15点 順一郎、草炎 14点 恭行
- 12点 碧亥、温州 11点 穂心 10点 史浩 9点 勝 8点 善富

◎ 本号高得点句

- 8点 植多終へし田を優柔の余り風 草炎
- 7点 新樹光木の間隠れに天主閣 惠吾
- 6点 燕飛空青くなり広くなり としを
- 6点 竹落葉古刹の庭の夕明り 善富
- 5点 川下る船頭の咽若葉風 勝
- 5点 三線に乗せて島唱南風の浜 穂心
- 5点 昨夜の風とどめて傾く花墓蒲 としを
- 5点 睡蓮や水面に音の幽かなる 恭行

惜しい！4点句 鳥の歌ハ六甲、病院へハ碧亥 通院やハ順一郎 夕灯るハ惠吾
風に揺れハ六甲、さざ波ハとしを 山若葉ハ恭行 雲間よりハ温州

次号宗匠「切捨て御免」担当 一としを (久しぶり今年2回目)
次号兼題 走馬灯 回灯籠は副題、円形の灯籠を二重にして内側の一重に厚紙を切りぬいた人馬・鳥獸などを貼り付け、中の燭燭などに点火すると火熱のため風が生じ廻る仕掛けとなる。厚紙の代わりに絹地を用いたものもある。影絵仕掛けの回り灯籠。
老人の目線の如く走馬灯 高浜虚子 ・ 影を売ること走馬灯売る男 有馬朗人
十二支みな闇に逃げ込む走馬灯 黒田杏子 ・ 走馬灯いつしか誰も居なくなり 山田澄江
人の世の影ばかりなり走馬灯 山口青藤 ・ 走馬灯廻る昔の速さもて 後藤比奈夫

創刊、昭和38年、600号以上を発行。会員約20名が毎月投句、選句。上手下手を問わず俳句を楽しんでいます。紙と鉛筆と歳時記で、花鳥風月を楽しんでみてはいかがですか？

発行人： 山下勝様 経済学部 14期 yama723@nifty.com

「芦火」連絡先：〒862-0954 熊本市中央区神水 1-7-2-301 TEL :096-382-4767

■ クロスオーバーホルン奏者 東谷慶太さん(教育 30 期)が音楽番組を無料配信。(人生塾)

この度、クロスオーバーホルン奏者 東谷慶太がお届けする YouTube 無料配信音楽番組 KEITA MUSIC ROOM を開設いたしました。クラシックのみならず、様々なジャンルに渡って長年演奏活動を行ってまいりました。今回、新しい音楽の形を模索することをもとに、新しい切り口で音楽作品をお届けしたいと考えています。

KEITA MUSIC ROOM <https://www.youtube.com/user/PopCorneyProject/featured>

また、クラウドファンディングを立ち上げました。この YouTube 無料配信 KEITA MUSIC ROOM プロジェクトシリーズが継続できますよう、皆様のあたたかいご支援を宜しくお願い申し上げます。

KEITA MUSIC ROOM クラウドファンディング <https://camp-fire.jp/projects/view/306295>



音楽番組
KEITA MUSIC ROOM
YouTube 無料配信プロジェクト

心安らく
音楽をお届けしたい

ライブこそ音楽の醍醐味です。しかし、安心して皆さまに音楽を楽しんでいただくことが簡単でなくなりつつある現状があります。特に、介護施設、医療施設においては新しい状況が続いています。心休まる時のない環境において、一息ついていただくことができれば音楽家として何よりも嬉しいことです。また、教育現場においても設立していただければ幸いです。もちろん、全ての皆さまが幸せな日々を送ることができる一助になれば何よりも嬉しいことです。 クロスオーバーホルン奏者 東谷 慶太

| | | |
|---|---|---|
| 第1弾 8/1(土) 週1回配信予定 東谷慶太ホルンリサイタル 全11作品 | 第2弾 2020年10月 配信予定 ゲストを迎えてのコラボレーション | 第3弾 2020年11月 配信予定 ゲストを迎えてのコラボレーション |
|---|---|---|

国内最大のクラウドファンディング **CAMPFIRE** にて、プロジェクト公開中

【オンライン人生塾のご案内】

日時:9/26 13:00～約60分
場所:オンライン GoogleMeet (仮)
参加費:無料

お申し込みは、東京支部へメールにてお申し込みください。
イベント当日までに、事務局から参加用 URL をメールにてご案内します。

文・編 47 期 中川貴照

柑芦会東京支部フェイスブック <https://www.facebook.com/groups/325065827574556/>

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-17-14 新宿シティ源ビル 5F 柑芦会東京支部

柑芦会専用電話:03-3366-3680 平日 9:00～18:00 土曜日:9:00～15:00

共用 FAX:03-3369-3469 柑芦会東京支部宛と記載下さい。 e-mail: tokyo@kourokai.com